

- 本誌は、毎月1回、都道府県石油組合、北海道18石油組合、共同事業部会委員、農林漁業部会委員に配信しています。
- 全石連のホームページ“石油広場：<http://www.zensekiren.or.jp/>”に最新号から1年前のバックナンバーまで掲載しています。
「石油広場 トップページ」⇒「各種情報」⇒「共同事業グループニュース」

(目次)

1 SSDドライブウェイ簡易補修セットの販売経路変更について

2 ケータイ水タンクの入数変更について

3 中型生命グループ保険の配当

4 自家共済の災害に対する共済での補償について

5 総括表等の数量記入欄に関する注意点

1 SSDドライブウェイ簡易補修セットの販売経路変更について

SSドライブウェイ簡易補修セット（品コード：625）で使用されている硬化剤に含まれる物質が毒物及び劇物指定令の一部を改正する政令（平成30年6月29日交付）により、新たに劇物に指定されました。

これにより、本品は、①本年10月1日からは毒物劇物取締法第3条第3項により毒物劇物販売業の登録を受けた者でなければ販売できないこと、②同法第14条第2項により購入者から「毒物及び劇物譲受書」の提出を受けなければ販売できないこととなります。

したがって、10月1日以降は、毒物劇物販売業の登録を受けた本会が組合員から「毒物及び劇物譲受書」の提出により直接注文を受け、代金回収を行う販売経路に変更することとなります。

ご注文の際には、全石連のホームページから注文書（毒物及び劇物譲受書）をダウンロードしてご使用下さい。

ダウンロードURL→<http://www.zensekiren.or.jp/06contents04/01/010109>

本品の使用、保管、管理に際しての注意事項がホームページに掲載の安全データシートに記載されていますので、購入される組合員には必ず閲覧するようご案内ください。

本件については、平成30年9月19日付け・全石協事発30第169号での事務連絡をご参照ください。

2 ケータイ水タンクの入数変更について

May I Help you? 34頁に記載のケータイ水タンク（品コード：739）は、商品内容が10ℓ（30入）となっていますが、現在は10ℓ（50入）に変更していますのでご承知おき下さい。価格は1個当たり240円が変わりありません。

3 中型生命グループ保険の配当

中型生命グループ保険の10月1日現在の加入者数は、7,426人（前月7,463人、前月比37人減）です。秋期キャンペーンでの組合事務局の皆様の取り組みで1社でも多くの新規加入先の開拓をお願いいたします。

29年度契約（29年8月1日～30年7月31日）に関する配当金は収支計算の結果、28年度の600万円に対して約4,400万円を受け取ることになりました。28年度の支払保険金が9,900万円に対して29年度は4,400万円と半減したことが配当金増額の要因となっています。

10月10日に加入者の口座に送金する手配を進めています。

4 自家共済の災害に対する共済での補償について

本年7月の西日本豪雨、9月の台風21号と今年は自然災害による被害が日本各地で発生し

ました。浸水（水災）や強風（風災）で物的損害が発生したSSの写真がぜんせきにも掲載されていきました。

賠償責任共済では、補償対象としている災害は、火災、破裂・爆発、落雷となっているので、水災、風災での損害に対する支払いはありません。

また、強風で飛ばされたSSの看板が他人の家や停めてあった車に衝突して賠償を求められるケースがあります。保険会社は台風の強風が原因である事故については不可抗力による事故であるから賠償責任はないとして免責を主張するケースが多いようです。

SS総合共済では、SSの施設の管理不備が原因となった賠償責任は“施設賠償”で補償しており、上記の事故例は施設賠償の対象としています。

また、SS総合共済では、水害でSSの計量機、洗車機などのサービス機器が損害を受けた場合、損害物件の時価額の5%を上限に共済金を支払うことになっています。

5 総括表等の数量記入欄に関する注意点

各制度の総括表等（農林軽油は集計確認証--販売店段階--）の数量記入欄については、単位は「リットル」で、数値のみが記入されていることをご確認ください。

海運などでは登録業者の取引量によっては、リットル単位では非常に大きな数値(1,000,000等)になることもあります。リットル単位での記入は国税庁の指導の下、農水省や国交省の決められた様式によりますので、キロリットルでの記入となっていないか十分にご確認ください。キロリットルで記入された総括表はリットルで処理されることとなり、数値が実績にくらべて大きく減少することになります。

また単位そのものを数量記入欄に記入しないように併せてご指導ください。数量記入欄に「リットル」や「ℓ」または「l」などの記載があると数値と見間違える恐れがありますので、組合で確認する際に単位を記入している総括表等を発見された場合は、以後は単位を記入しない様登録業者にご指導をお願いします。

不適切な記入例 「1,000,000 リットル」、「1,000,000ℓ」、「1,000,000l」等



正しい記入例 「1,000,000」

----- 【農林チームからのお願い】 -----

無税重油、国産A重油、農林軽油、海運用燃油に関する総括表等に決められている提出期日が近づいてきましたら、登録業者からの提出状況をご確認ください。

期日までの提出励行にご協力をお願いいたします。